



東京医科大学 (一般)

英語



第1問

1	2	3	4	5	6
②	①	①	②	③	②

第2問

7・8	9・10	11・12	13・14	15・16	17・18
④・②	⑥・④	②・③	①・④	④・①	⑥・③

- a. ④・② (*More often than not*, he will **come late** to class.)
- b. ⑥・④ (The prisoner's **life was at the mercy of** the ruthless monarch.)
- c. ②・③ (The young man **is embarking on** a new career **with** high **hopes**.)
- d. ①・④ (It is still hard for **her to come to terms with** the **sudden** death of her younger brother.)
- e. ④・① (The dean felt that the university should change its **goals in order to comply with** international standards.)
- f. ⑥・③ (It **goes without saying** that if you have a liver disease, you **should refrain from** drinking alcohol.)

第3問

19	20	21	22	23	24
③	②	③	④	①	④
25	26	27	28	29	
②	④	①	⑥	①	

第4問

30					
④	⑥	⑧	⑩		
31	32	33	34	35	36
③	④	①	②	①	②

C プラスチック問題に関する注目を、生産から処分へと向けさせようとする独自の試みが、4月に日本で施行された。

講評

例年の大問5題の形式から第1問のアクセント問題が消えて4題となった。昨年度変更があった二つ目の読解問題は、昨年形式が踏襲された。小問数は2問減った。読解は2題とも日本の英字紙が出典で内容も英文も読みやすかったと思われるが、60分という短時間のプレッシャーを考慮に入れると、目標となる得点は70点から75点であろう。

第1問 短文完成空所補充問題6問。すべて単語の問題で、若干見慣れぬ語もあったろうが、消去法で切り分けられたのではなかろうか。

第2問 日本文なしの語句整序問題6問。整序の核となったのがイディオム。 a. more often than not b. at the mercy of c. embark on d. come to terms with e. comply with f. it goes without saying that で、知識があれば秒殺ではあったが。

第3問 「コロナ禍における外国人留学生と地元の子供たちとの交流」に関する標準レベルの読解問題。空所補充・内容真偽・同意表現・主題が問われている。特に難しい設問はなかった。

第4問 「プラスチックごみが海洋生物に及ぼす問題に対する日本と世界の取り組み」に関する標準レベルの読解問題。内容真偽・同意表現・英文和訳(記述)が問われている。多くの受験生はこの読解問題を最後に解いたと思うが、内容真偽問題と同時に読んでいかないと、とても時間内に間に合わなかったと思う。英文和訳は構文・単語とも易しめなのだが、自然な日本語にするのに苦労したかもしれない。



メルマガ登録(無料)またはLINE公式アカウント友だち登録(無料)で全教科閲覧できます!
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



渋谷校

 0120-142-760

受付9時~22時(日曜日のみ19時まで)

東京都渋谷区桜丘町6-2

名古屋校

 0120-148-959

受付9時~22時(日曜日のみ19時まで)

名古屋市中村区名駅2-41-20
CK18名駅前ビル2F・6F

大阪校

 0120-142-767

受付9時~22時(日曜日のみ19時まで)

大阪府吹田市広芝町4-34
江坂第1ビル3F